

「三条市の健全財政」に関して

- 問** 三条市が「健全財政」であるという根拠は何か。
- 答** 「財政健全化法」の四つの指標に一つも抵触していない。
- 問** 三条市の「借金の総額」はいくらか。
- 答** 一般会計と特別会計等を含めて1090億円。
- 問** 「平成27年度類似団体比較カード」から読み取れる三条市の特徴はどうか。
- 答** 90市の下位のレベルである。しかし、それぞれの市の事情が違っているので比較することはあまり意味のあることと捉えていない。
- 問** 「決算状況」の広報での掲載の目的は何か。
- 答** 行政の説明責任であり、法律で定められている。
- 問** 「財政面での今後の読みと対策」はどうか。
- 答** 平成32年度くらいまでは悪化状態であるが、その後は持ち直す見込みである。
- 問** 「県央土地開発公社」の行政責任はどこにあるのか。
- 答** 理事長は三条市長である。



都市計画道路3・3・5 下須頃上須頃線の計画図



都市計画道路3・3・5 下須頃上須頃線の現況

問 幅員は4車線25mでないのか。
答 開院に間に合わせるため2車線で整備するが、手戻りが生じないように配慮する。

問 下田地区棚田内の温泉掘削事業の経費はいくらか。
答 トータルで約600万円だった。

小児がん対策について

- 問** 厚生労働省は、東京都が作成した診断ハンドブックが有用と位置付けている。このハンドブックの周知の通知を受けた県の対応はどうか。
- 答** 県では厚生労働省からの事務連絡を受けて、県内129カ所の病院に情報提供したと聞いている。このハンドブックを活用して、適切な医療が受けられると期待している。
- 問** 患者の家族への相談支援等は、どう考えているのか。
- 答** 日常の生活支援、また保育所や学校での過ごし方などさまざまな悩みがあり、必要に応じて医療機関や学校と連携し対応している。
- 問** マイナポータル制度の現状と課題について
- 問** マイナポータルによる子育てワンストップサービスはどうか。

職員の時間外勤務について

問 今年度の状況と削減状況は。
答 昨年より改善されているが目標には届いていない。

境の沢砂防ダムについて

問 排水路整備が途中までとなっている。危険性はないのか。
答 現状では不十分。管理者の県に整備を要望する。



境の沢

問 児童手当や保育所の入所申請など15種類の手続きがインターネットで行える。市役所に足を運ばなければならなかったものも含まれ、利便性の向上が図られるか。
答 本格運用は、いつからか。

問 本格運用は、いつからか。
答 本格稼働を11月として、共同化によるシステムを導入した。申請書式の登録が完了しており、申請ができる状態である。



パソコンのマイナポータル

市民生活に大事な公共施設、市民の声を反映させて

問 昨年度から20年間の公共施設等総合管理計画が策定され、利用率が低い場合、施設の廃止や民営化に移行等と具体的に書かれ、既に決定かのようにうかがえる。子どもも含めもっと市民の声を広く聞いていくべきではないか。
答 個々具体的な施設の見直しについては改めて意見を募るなどしたい。

問 高齢者の外出を推進しているが、公共施設のトイレ洋式化の現状はどうなっているか。
答 洋式トイレがない施設は12。施設の状況等をみて順次洋式化に取り組みたい。

問 ものづくり学校で夏祭りが行われたが、大事な夕方に停電した。対応が遅れ途中で中止に追い込まれた。こうした非常時の対応はどのようにしているのか。
答 指定管理者と個々の委託業務受託者との緊急時の対応に問題があったと考えている。事態を検証し適切に対応したい。

あらかわ保育園・旧荒沢小学校の危険性について

問 7月の大雨時、避難所に指定されているのに別の場所に避難しなければならなかったが、危険な施設なのか。
答 安全と考えているが100%ではない。2階への避難を含め今後周知していく。

三条市の職員体制について

問 今後の事業展開を考え体制は十分なのか。
答 一時的な業務に合わせた設定はしない。

問 技術職員不足の対応は。
答 臨時的業務の委託等について柔軟に対応する。

県央基幹病院アクセス道路(下須頃上須頃線)について

問 事業主体・規格は。
答 三条市が事業主体となり、県は所要の財政支援を行う。幅員は車道が路肩を含め5m×2車線+歩道3m、合わせて13mとなる。

民生委員の処遇改善を図って！

問 民生委員への要望が高まる一方、委員の成り手に苦慮すると聞く。処遇を改善すべきではないか。
答 民生委員の活動費を上げれば成り手が増えるかと言えば疑問が残る。

旧三条小学校跡地を含めたJR北三条駅南エリアの今後の展開について

問 旧三条小学校跡地の検討はどのようにしているのか。
答 予定している図書館、鍛冶ミュージアムおよび理科教育センター機能を有する新たな複合施設はもちろんのこと、世代間交流や交流人口の拡大につながる多彩な市民活動が展開されるエリアとするための検討をしている。検討メンバーは人選も含めこれからである。また、たたき台を示すのかも含めて検討している。